

仁木 恒夫  
法学研究科・教授

**【研究】**

2023年度はおもに以下の研究を進めた。

第一に、簡易裁判所の民事裁判研究の一部として、日本法社会学会の企画図書『法社会学の最前線』に「法的対論への本人の参加——簡易裁判所における弁論過程と紛争当事者」を公表した。

第二に、日本法社会学会学術大会の企画ミニ・シンポジウム「Legal Consciousnessの現場」のコーディネートを行った。

第三に、科学研究費補助金の助成を受けて法多元主義の理論的・経験的な共同研究「コンタクト・ゾーンの紛争処理」を実施しているが、共同研究者とともにその成果の一部を2025年度の日本法社会学会学術大会のミニ・シンポジウムにおいて報告する準備に着手した。

**【教育】**

大阪大学の担当授業のほか、京都大学の非常勤を担当した。

**【管理運営】**

資料室長の業務をおこなった。

図書館委員、総合図書館運営委員、総合学術博物館兼任教員の業務をおこなった。

**【社会貢献】**

学外委員として、簡易裁判所判事推薦委員、日本法社会学会理事、奈良県建設工事入札参加停止審査会委員、奈良県入札監視委員会委員、Nexco 西日本入札監視委員会委員などを担当した。